

秋田商業高校の生徒が制作した、「振り込まん」のポスターとのぼり旗で特殊詐欺防止をPR!



ポスター

前列左から秋田商業高校3年の後藤鳳珈さん、高橋果実さん、木内翼さん。後列左から秋田県警察本部生活安全企画課安全・安心まちづくり支援対策官の小番誠さん、(株)あじまん取締役副社長の堀越一道さん、瀧澤徳彦校長

1月25日、秋田商業高校の生徒が制作した「振り込まん」ポスターとのぼり旗の発表会が同校で行われました。デザインは流通経済コースの3年74人が授業で考案したもので、ポスターに木内翼さん、のぼり旗に後藤鳳珈さん、高橋果実さんの案が採用されました。

「振り込まん」は株式会社あじまんが2016年に、山形県警と特殊詐欺防止の共同キャンペーンとして作った2月の土日祝日期間限定販売商品で、2021年から秋田県警とも連携し啓発活動に取り組んでいます。

問い合わせ▶秋田商業高校☎(823)4308

寄付ありがとうございます



2月2日の受納式。穂積市長の右がキヤノンカスタマーサポート(株)代表取締役社長の橋本圭弘さん、右端が秋田事業所部部長の藤谷優美子さん、左が佐藤教育長、左端が御所野学院高校の神田瑞穂校長

キヤノンカスタマーサポート株式会社秋田事業所から、教育支援として御所野学院高校・中学校での表現科の授業などに活用するためにカメラ機材セット30台を寄付していただきました。

問い合わせ▶御所野学院高校☎(889)9150

包括連携の協定を締結しました

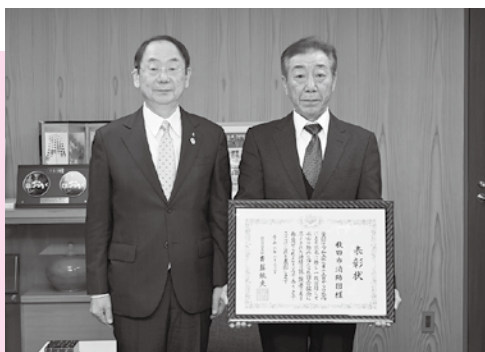


1月31日の協定締結式。前列左から秋田支社長の岸本輝彦さん、常務執行役の青戸伸之さん、穂積市長、齋藤企画財政部長。後列左から秋田支社の市場開発担当部部長の清水潤也さん、千秋営業所長の佐々木裕美さん、地域リレーション推進部推進役の新本清隆さん、伊藤保健所長、納谷観光文化スポーツ部長

秋田市と明治安田生命保険相互会社は、地方創生の推進を目的とした包括連携協定を締結しました。今後、子ども・子育て、健康増進・介護予防、スポーツの振興、産業・観光の振興など、さまざまな分野で連携していくこととしています。

問い合わせ▶企画調整課☎(888)5462

秋田市消防団が水防功労者国土交通大臣表彰を受賞しました



2月2日の市長報告会。穂積市長の右が秋田市消防団長の永澤靖雄さん

令和5年7月豪雨において、7月15日から19日にかけて延べ622人が出動し、河川などの警戒巡視、積み土のう工の実施、排水活動、住民の避難誘導、人命救助などの水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に貢献したことが評価されました。おめでとうございます。

問い合わせ▶消防本部警防課☎(823)4243

つながり、ともに歩める まちをめざして



問い合わせ
健康管理課
☎(883)1180

自殺は社会的な問題です

秋田市の自殺者数は平成22年以降減少しておりますが、令和4年は前年よりも増加し、いまだ多くのかたが自ら命を絶っている状況にあります。

自殺にはさまざまな要因が複雑に絡み合っているとされ、決して個人の問題のみとして捉えられるものではありません。周囲の環境や関わり方、社会全体が変わっていくことで、個人の抱える複雑かつ深刻な課題の解決につながり、尊い命を守る事ができます。

3月はさまざまな環境の変化によって悩みを抱え心の調子を崩しやすい季節ですので、特に注意が必要です。不安や苦しみ、悩みなど一人で抱えてはいませんか。このようならさも苦しみも、一人で抱えていては重くなるばかりです。また、一人で考えたり悩んだりしている、物事に対する見方が狭くなっている、眠れない「食欲がない」「人間関係がうまくいかない」などあったことについて、「こんなことで相談していいのだろうか」「思わず、やわいさないで、も身近な人に話してみまじょう。」

あなたがゲートキーパーになる

「ゲートキーパー」とは、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守ることができるとのことです。あなたの大切な人のかけがえのない命を守るために、いつもと様子が違うと感じる人がいたら、まずは声をかけてみることから始めてみましょう。

気づき

「いつもと違つ」と感じることはありませんか

- ▶ 眠れない ▶ 食欲がない
- ▶ 大量のお酒を飲むようになる
- ▶ 孤立している
- ▶ 自分の健康を顧みない
- ▶ 「消えてしまいたい」「死んだら楽になる」など口にする など

声かけ

笑顔で優しくあつて、「声をかけてみまじょう」「どうかしたの？」「さあうだけど…」「悩んでる？」「よかったら、話してみてる？」など

自殺対策強化月間の キャンペーンを実施中！

きららとしょかん明德館では心のメンテナンス資料の展示として、自殺対策に関連した書籍を紹介し、ポスターの掲示やパンフレットの設置も行っています。貸し出しを行っている図書の中から司書が選んだ図書も設置しますので、是非ご覧ください。

きららとしょかん明德館
司書オススメの一冊！



『生きのびるための「失敗」入門』
雨宮処凛／著
河出書房新社

14歳の頃、著者が聞きたくて仕方がなかったのは、美談でない「ただの大人の失敗談」。失敗しても、弱いままでも、情けなくても、ぼちぼち生きて大人になれる…。「失敗経験者たち」が語る、生き抜くためのヒントが満載。

課題の整理をお手伝いします

会場はいつでも市保健所（八橋）。ご希望のかたは、健康管理課へお申し込みください。

精神科医による精神保健福祉相談

原則、精神科に通院していないかたが対象です。ご本人やご家族、関係者などの相談に応じます。定員各日2人。
日時▶毎月第1・第3木曜、午後1時30分～4時

臨床心理士によるこころのケア相談

心の問題を抱えるご本人が、ご自身で問題解決できるようにサポートします。定員各日3人。
日時▶毎週水曜、午後1時15分～5時

保健師などによるこころの相談

電話または来所相談に応じます。来所相談は事前にお申し込みください。
日時▶平日、午前8時30分～午後5時



寄り添い

真剣に話を聞く
つらい気持ちに共感し、受け止める
聴き役に徹する など

つなぎ

専門医、専門機関へ受診や相談をすすめてみまじょう
相談を受けたときには自分だけで抱え込まずに専門家に相談を相談先に困ったら健康管理課まで相談ください

見守る

温かく寄り添いながら、じっくりと見守りまじょう

